



仁淀病院からのお知らせ



抗がん剤(注射薬)調製について

薬剤師 宮崎 英典

抗がん剤によるがんの治療は非常に重要な治療法です。仁淀病院においても抗がん剤治療は入院のみならず外来でも通院しながら行えるように、新病院開院時には化学療法室を設置し、そして抗がん剤治療を安全に安心して受けていただくように医師、看護師、検査技師、栄養士、薬剤師などがチームを組んで患者さんをサポートしています。主に薬剤師の役割は抗がん剤の調製、治療薬の説明、副作用のチェックです。

新病院開院から、外来・病棟看護師が行っていた抗がん剤(注射薬)の調製は薬局で行っています。抗がん剤は、がん細胞に対しては抗がん作用を示しますが、正常細胞に対しては毒性を示すことが知られています。医療従事者は抗がん剤に被曝しないようにしなくてははいけません。被曝というと放射能みたいですが、抗がん剤に曝されるという意味でしょう。

抗がん剤を安全にかつ無菌的調製するにはそれなりの装置と備品が必要になります。また、調製時に必要な技術もあります。装置は安全キャビネットです。右の写真が薬局にある物です。

安全キャビネットは内部の抗がん剤漏洩防止のために内部を低圧に保ち、またフィルターを通して清浄化した空気を排出して、調製者が抗がん剤で被曝されるのを防ぎます。備品は抗がん剤対策簡易保護キットです。キットにはガウン、グローブ、アイシールドマスク、キャップなどが入っています。右の写真が装備した物です。

この写真では見にくいですが、アイシールドマスクはマスクとゴーグルが一体になっています。グローブはニトリル製(耐薬性である)で、2枚重ねで使用します。平成25年度の抗がん剤調製件数は合計159件でした。

抗がん剤による治療をより安全にし、患者様に安心して治療を受けていただけるように努力しております。不安や疑問などがあればご遠慮なくスタッフにお尋ねください。



◆ 泌尿器科外来のお知らせ

泌尿器科外来の診療日が隔週火曜日午後から**第2、第4木曜日午後**に変更となっています。
詳しい診察日については仁淀病院(☎ 893-1551)までお問い合わせください。

有料広告

ダイエットコース開設しました!

無理なく健康的な身体づくりをしませんか?
只今、初回カウンセリング無料で行っております。

◎お気軽にお問い合わせください!

いの町天王南5-7-14 / Tel: 070-5512-6815 (田村)

